

2 パートナー会員の選定について

2-① パートナー会員の選定について

【募集目的】

一般会員のうち、鎌倉市スマートシティの推進に対して「分野間連携の促進やデータ利活用の推進」などに積極的なご協力をいただける法人等を募り選定するもの。

<提案の例>

- 自社の製品、サービス、ソリューションの無償提供
- 自社の保有するチャンネルやデータの提供
- 鎌倉市を活動領域(フィールド)とした具体的な実証事業等の提案、共催事業の開催等の申し出

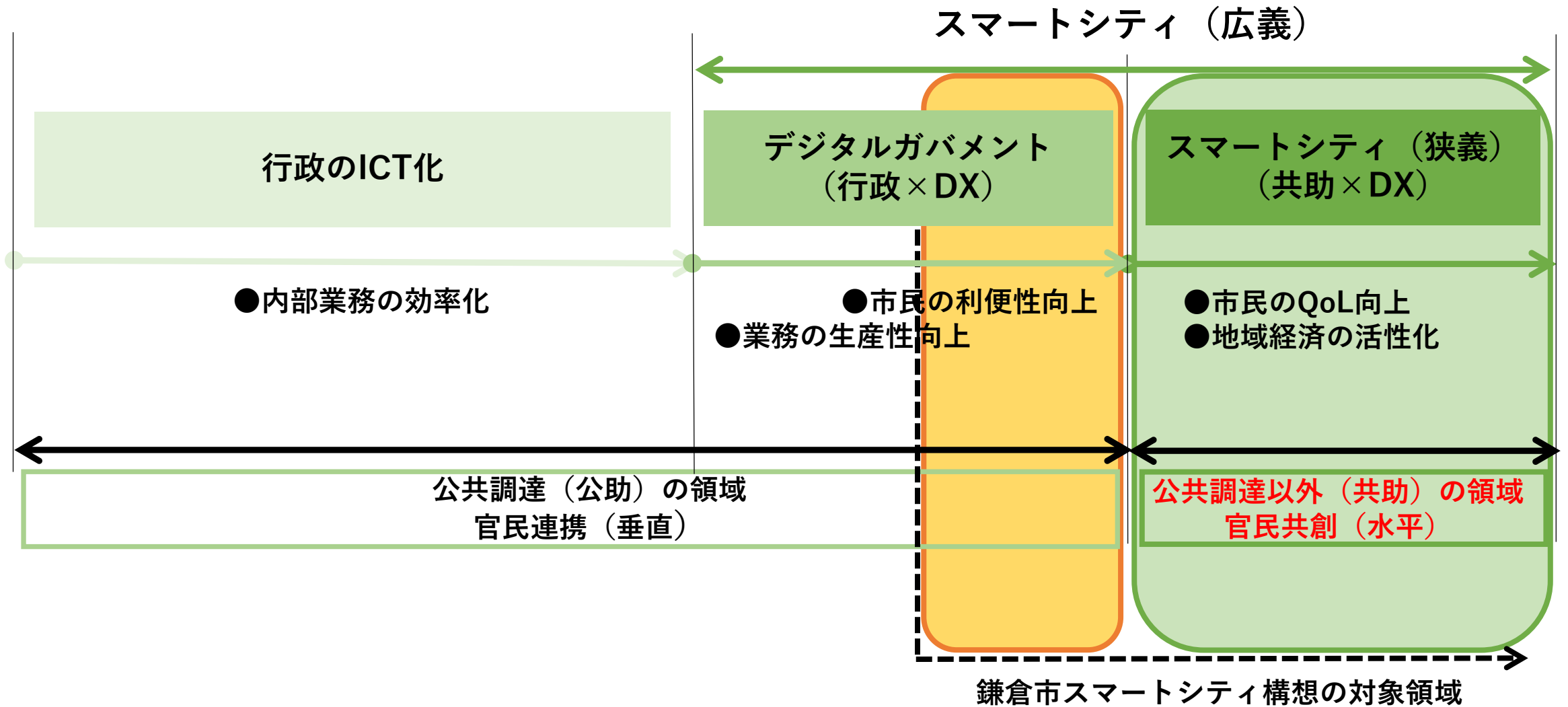
【選定基準】

- 鎌倉市内広域又は全国規模において一定以上のチャンネル・アセットを持つ企業・団体・大学
 - ・具体性(目的、内容(チャンネル、データや技術などのアセット)、提供範囲)
 - ・公益性(単なる営業活動は不可)
 - ・主体性(アドバイスや情報共有のみは不可)
- ※ 本市が令和4年度に業務委託する事業に関する提案をした事業者は本選定の対象外。
EX. 合意形成PFの構築やデータ連携基盤の整備など

【経過】

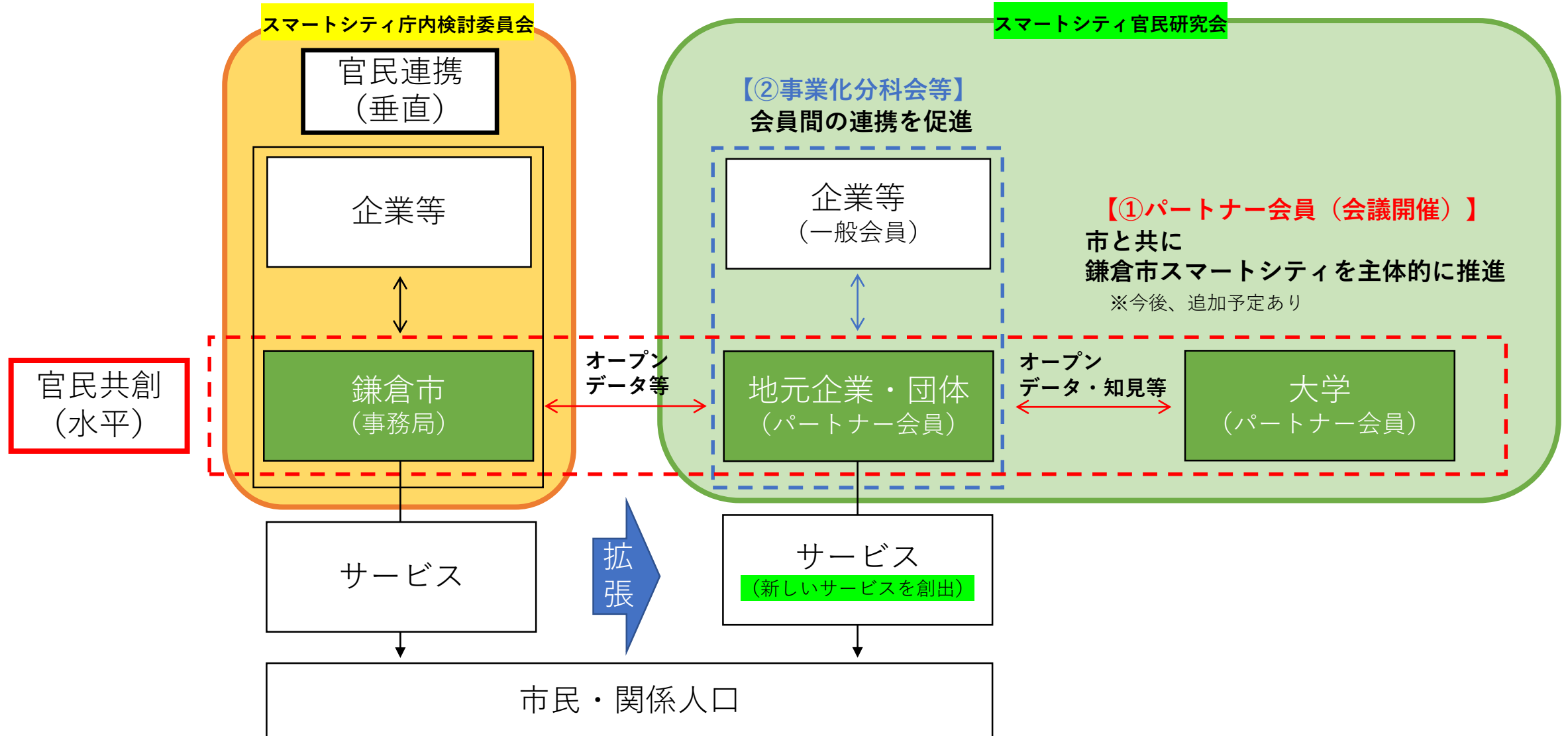
- 令和3年12月 募集開始 延べ65事業者から応募
- 令和4年1月～3月 ヒアリング
- 令和4年4月～6月 選定に向けた個別調整

2-② 鎌倉市のDXの取組(デジタルガバメント、スマートシティ)



～ICT化とDXは違う。DXはデジタルの導入に合わせて組織や役割、まちのリデザインが必要～

2-②スマートシティ官民研究会(市民目線で「公共」を再定義)



2-③ パートナー会員の選定結果

※企業(あいうえお順)、団体、大学の順で掲載

	事業者名	スマートシティで関心や実績のある分野	鎌倉市のスマートシティの推進に向けて協力・提案する内容
1	江ノ島電鉄株式会社	<p>【交通・混雑分野】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 効果的な周遊商品、次世代モビリティ整備を通じたMaaS構築 ● 公共交通利用促進、カーボンニュートラルに向けた施策 ● 観光における各種分散化(場所・時間)に向けたコンテンツ提案 ● 観光混雑時の適切な情報発信に向けた実証(民間企業として持続可能な具体的施策、政策との連動) <p>【コミュニティ活性化】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 地域住民と観光客の交流創造、持続的なつながり構築に向けた場の提供、施策提案 ● 若者、高齢者の外出率増加に寄与する移動目的・移動手段の高度化 <p>【その他】</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 市内交通・物流・観光従事者の働きがいを含めた鎌倉市民のウェルビーイングへの取り組み 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域課題の解決に向けて、会員企業と連携しサービスやソリューションの企画、検討を行う。 ● 市民起点のアイデア、実証実験に対して、当社事業である鉄道、路線バス、不動産の各種事業資産やフィールドを提供するとともに、持続可能な共創に向けた各種支援を実施したい。 ● ビジネス・アクセラレーター・かながわ(BAK)と連携したオープンイノベーションのコミュニティ形成の推進。
2	株式会社カヤック	<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代コミュニティの形成と、コミュニティ形成により少子高齢化やオーバーツーリズム、防災等の地域の課題を解決すること 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域課題の解決に向けて、会員企業と連携しサービスやソリューションの企画、検討を行う。 ● コミュニティ通貨プラットフォーム「まちのコイン」を、次世代コミュニティの形成のための横串的なインフラとして提供。
3	医療法人徳洲会 湘南鎌倉総合病院	<ul style="list-style-type: none"> ● 次世代救急医療体制の構築 ● 医療MaaS ● オンデマンドバス・自動運転バス ● AI問診・遠隔診療 ● ロボット・IoT・AIを活用した業務改善 ● 院内Transportation・robot 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域課題の解決に向けて、会員企業と連携しサービスやソリューションの企画、検討を行う。 ● 医療機関への通院困難者(独居高齢者、治療都合者)へのスマートアクセスの構築を行う。 ● TXP Medical株式会社や鎌倉市医師会、鎌倉市消防本部との連携による次世代救急医療体制の構築に向けた実証事業で培った経験、ノウハウの提供のほか、蓄積したオープンデータの提供に向けた検討を進める。

2-④パートナー会員の選定結果

※企業(あいうえお順)、団体、大学の順で掲載

	事業者名	スマートシティで関心や実績のある分野	鎌倉市のスマートシティの推進に向けて協力・提案する内容
4	湘南モノレール株式会社	<ul style="list-style-type: none"> ● 混雑緩和・平準化、顧客利便性向上、利用促進に向けた人流データの活用 ● MaaS ● 次世代モビリティ(BRT自動運転、オンデマンドサービス他) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域課題&モノレールの課題の解決に向けて、当社保有の資産やフィールドを可能な範囲で適宜活用するとともに、会員企業と連携しサービスやソリューションの企画、検討を行う。 ● 湘南モノレール及びみちのりグループでの交通オペレーターの知見とノウハウ、これまで国土交通省、鎌倉市などと取り組んできた人流可視化事業、グループで取り組んだDX実証実験等で培った経験を活かした提案を行う。
5	一般社団法人 スマートシティ・インスティテュート	<ul style="list-style-type: none"> ● Liveable Well-Being City 指標の開発・普及促進 →政府が推進する「デジタル田園都市国家構想」において、地域におけるWell-Beingを計測する指標と位置付けられている ● アーキテクト人材育成プログラムの開発 →慶應義塾大学院システムデザイン・マネジメント研究科白坂成功研究室と協働でプログラムの開発に取り組んでいる 	<ul style="list-style-type: none"> ● 鎌倉市のスマートシティの取り組みのなかで、地域のWell-Beingを計測する指標(現状把握・目標設定・進捗管理等)として、Liveable Well-Being City 指標(LWCI)を活用することについて、鎌倉市をはじめ、市民や官民研究会参画企業等との共創の取組を進めること
6	慶應義塾大学SFC研究所	<ul style="list-style-type: none"> ● デジタルプラットフォーム・IoT・3D製造技術を用いた「デジタル駆動超資源循環参加型社会共創拠点の形成」事業による「プラスチックの地捨地消:鎌倉一慶應モデル」 ● ウェルビーイングを支えるPHRの利活用 	<ul style="list-style-type: none"> ● 令和2年(2020年)11月24日に鎌倉市と締結した「創造みらい都市の実現に関する包括連携協定書」に基づき、スマートシティをはじめとした次世代のまちづくりや、それに必要な人材育成、湘南地域への波及に向けた、本研究所の有する最先端のテクノロジーや知見の提供協力 ● 共創の場形成支援プログラム(COI-NEXT)「デジタル駆動超資源循環参加型社会共創拠点」の取組における知見の提供や、フィールドにおける地域や市民との連携および啓発活動を通じ、データやテクノロジーを活用した、市民の地域課題解決力の向上支援への協力